

被災者生活再建支援シンポジウム

一人の取り残しのない生活再建支援の実現 ～北海道胆振東部地震・安平町に学ぶ～



安平町では北海道胆振東部地震を受け、東京都が標準的に導入している『被災者生活再建支援システム』を活用して生活再建支援に取り組んだ。同システムを導入している他県の応援を得て、迅速かつ確実な生活再建支援業務を実施した。その事例を共有し、今後の大規模災害に備える。

日時 令和元年8月7日(水) 13時～17時15分 (開場：12時30分)

場所 南大塚ホール(豊島区南大塚2-36-1)

◆ 講義内容 ◆ (司会：豊島区 総務部長 佐藤 和彦)

I 生活再建支援業務の重要性と東京都の取り組み

13:05～13:25	生活再建支援の全体像と「ユーザー会」の意義	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長 林 春男 氏
13:25～13:45	東京都における被災者生活再建支援システムの導入とガイドライン策定	東京都総務局 防災対策担当部長 榎園 弘 氏
13:45～14:00	豊島区の取り組み	豊島区 区民部長 上野 仁志

II 北海道胆振東部地震安平町における建物被害認定調査と罹災証明書発行業務

14:00～15:25	地震被害の特徴と建物調査の実際	MS&ADインターリスク総研株式会社 総合企画部 リスク計量評価グループ長 堀江 啓 氏
	建物被害認定調査・罹災証明書発行マネジメントを支えた事務局体制	北海道勇払郡安平町 政策推進課 笹山 陽平 氏 (建物調査チーム事務局長)
	抜け漏れ落ちのない調査を実現した調査ツールの開発	ESRIジャパン株式会社 コンサルティングサービスグループ 部長 菅原 修 氏
	システムツールを活用した調査マネジメントの実現	富山大学 都市デザイン学部 准教授 井ノ口 宗成 氏

III 生活再建支援業務をとりまく環境・新たな応援・受援の動き

15:35～16:35	対口支援 (総務省の新たな試み)	一橋大学 大学院法学研究科准教授 泉 智徳 氏
	応援調整	新潟県防災局危機対策課 参事 大崎 達也 氏

IV パネルディスカッション・自由討議

16:40～17:15	生活再建支援業務における今後のあるべき姿	【モデレーター】新潟大学 危機管理本部 危機管理室 教授 田村 圭子 氏
-------------	----------------------	---

交流会 17:45～ (自由参加、会費：4,000円)

申込方法：メール(A0011903@city.toshima.lg.jp) 締切：7月26日(金)

記入事項：①代表者所属、②代表者氏名、③シンポジウム参加希望人数、④交流会の参加者氏名、⑤特記事項：車椅子利用・手話通訳の希望等

主催：豊島区 共催(予定)：被災者生活再建支援研究会
後援(予定)：国立研究開発法人 防災科学技術研究所
東京都被災者生活再建支援システム利用協議会

南大塚ホール(豊島区南大塚2-36-1) へのご案内

【交通案内】

「東京メトロ 丸ノ内線 新大塚駅」1番出口より徒歩8分

「JR山手線 大塚駅」(南口)より徒歩5分

「都電荒川線 大塚駅前」より徒歩5分

都バス「大塚駅」停留所より徒歩5分(都02、上60)

